

競技の規定及び方法（大会要項より）

- (1) (公財) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」および「東海中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」、「新型コロナウイルス感染症対策に係る暫定的申し合わせ事項」に準じて行う。
- (2) 左拳を目の位置より高く上にする、いわゆる「変形な構え」が認められた場合は、1回目は「合議」の上指導、2回目以降は「合議」の上「反則」とする。（公正を害する行為）
- (3) 個人戦
男女ともトーナメント法にて行う。
試合時間は3分3本勝負で行い、勝敗の決しない場合は延長戦を行い勝敗を決する。
- (4) 団体戦
男女ともトーナメント法にて行う。
試合時間は3分3本勝負で行い、勝敗の決しない場合は引き分けとする。
チームの勝敗が決しないときは、3分1本勝負で任意の代表者による代表者戦を行う。（延長戦あり）
- (5) 延長戦について
個人戦及び団体戦の代表者戦の延長戦は時間を区切り、試合時間3分、延長2分、延長2分、立会の間合いで深呼吸、延長2分、延長2分、3分の給水時間、その後はこれを繰り返す。
- (6) 竹刀の長さは男女とも114cm（約3.7尺）以内、重さは男子が440g以上、女子は400g以上とする。安全のため竹刀の先革の長さは50mm以上とし、先端部最小直径が、男子25mm以上、女子24mm以上とし、ちくとう最小直径を男子20mm以上、女子19mm以上とする。検査に合格し検印のあるものを使用する。
また、柄革は、滑り止めや模様等がない無地のもので白色とする。不正竹刀（検印のないもの、テープを巻いたもの、異物を挿入したもの）は使用しない。
- (7) 監督の服装は、白色（無地）半袖のワイシャツ、グレー（無地）ズボンまたはスカート、エンジ色のネクタイ、紺色（無地）の靴下とする。
- (8) 試合をする学校の待機場所への整列は、選手、監督1名（校長・教員）のみとする。
- (9) その他、試合運営上の諸問題については、各県専門委員で合議のうえ、決定する。